

長期使用しない場合、また購入直後は取扱説明書に記載の点灯時間より短い場合があります。バッテリーの能力を十分に発揮させるために下記の点をお守りください。

▲安全にご使用いただくために

- バッテリーやバッテリーチャージャーのプラグはショートさせないでください。発熱や発火により火災や機器破損のおそれがあります。
- バッテリーが液漏れしたときは、素手で触らないでください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明の原因になります。液が身体や衣服に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 加熱したり、火の中へ投入しないでください。内容物が膨張して破裂するおそれがあります。
- 変形、変色などの異常があった場合は、使用しないでください。
- 充電時のプラグの接続は確実に行ってください。
- バッテリーチャージャーのコード等が傷んだ場合は絶対に使用せずに、当社製品サービス課に修理を依頼してください。
- 幼児の手の触れるところに放置しないでください。
- 過放電（点灯しなくなった状態で、スイッチをオンのまま長時間放置すること）はバッテリーの寿命を縮めます。使用後は充電することを心掛けてください。

初めて充電するときや長期間使用しなかったとき

- 購入後、はじめて使用する際は取扱説明書の充電方法に従って必ず充電を行ってください。
- バッテリーは長期間放置しておくとし自己放電により電圧が低下します。ご使用前に必ず充電をしてください。
- 保管する前と保管中 90 日毎に完全に充電すると充電電池の性能は保たれて長持ちします。

充電時の注意

- 充電は炎天下の車内や直射日光下を避け、周辺温度が 0 ~ 40℃ の範囲で行ってください。（バッテリーが 55℃ 以上になると安全回路が働き充電完了と誤認識します）
- 充電は必ず専用のバッテリーチャージャーを使用してください。
- 充電は家庭用電源に接続することを推奨します。（電源電圧が不安定な場合、安全回路が働き充電完了と誤認識する場合があります）
- 充電プラグにゴミ等の異物が付着していないことを確認してから充電を行ってください。
- 充電中はバッテリー、バッテリーチャージャーともに振動を与えないようにしてください。
- まれに所定以内の短時間でインジケータが緑点灯して充電完了を表示することがあります。この場合は充電プラグを一旦抜いて、接続し直してください。正しい充電が開始されます。なおこの操作は回数必要な場合があります。
- 未使用期間が 90 日を越えてから充電すると満充電になっていなくても短時間（20 ~ 30 分）で充電インジケータが緑点灯することがあります。このような場合は次の手順でバッテリーリフレッシュを行ってください。
 1. バッテリーチャージャーのプラグを一旦バッテリーから抜き、差し込み直します。その際、充電インジケータが緑点灯や赤点滅の場合でも、そのまま 24 時間放置してください。
 2. 24 時間後、バッテリーをバッテリーチャージャーから外し、再度取り付けます。充電インジケータが次のどちらかの状態になります。
 - A：赤点滅の状態が 10 分以内に緑色に点灯しない場合は、正常充電を開始しています。
 - B：赤点滅の状態が 10 分以内に緑色に点灯する場合は、赤色点滅が 10 分以上継続するようになるまでバッテリープラグの抜き差しを繰り返してください。
 3. 取扱説明書に記載している充電時間で充電が完了します。
- バッテリーリフレッシュを行っても点灯時間の著しい低下が見られる場合はバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。使用済みのバッテリーは地域で定められた方法で処分してください。

保管の際の注意

- 長期間使用しないときは湿度が少なく、涼しい場所で保管してください。周辺温度が高いと自己放電が促進されます。（推奨温度範囲：- 20 ~ 35℃）
- 保管中、誤操作により点灯状態にならないようにしてください。

トラブルと処理

トラブル	チェック
充電ができない	バッテリーチャージャーは、本体とコンセントにしっかり差し込まれていますか？ 専用のバッテリーチャージャーを使用していますか？ 本体やバッテリーチャージャーの接続端子が汚れていませんか？ 未使用期間が 90 日を過ぎていませんか？上記の方法でバッテリーリフレッシュを行ってください。
バッテリーの消耗が早い	バッテリーリフレッシュを行っても回復しない場合はバッテリーの寿命です。 新しいバッテリーに交換してください。